

2019年1月期2月度 月次業績動向(単体)(2018年1月21日～2018年2月20日)

会社名 ピープル株式会社

(http://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 小暮雅子



2018年3月16日

東証JASDAQ

上場取引所:

コード:

7865

TEL:

03-3862-2768

問合せ先:

IR担当 飛田留美子

(単体業績)

※月次、過去12ヶ月期間の前年対比は単体で表示しております。

科目	《月次の対比》(単体)			《過去12ヶ月累積期間の対比》(単体)		
	2018年1月期 2月度	2019年1月期 2月度	※前年 同月比	16/2/21～ 17/2/20	17/2/21～ 18/2/20	※前年 同期間比
売上高	347,139	275,996	79.5%	4,699,216	4,192,324	89.2%
営業利益	47,368	39,378	83.1%	531,566	499,881	94.0%
経常利益	45,967	39,476	85.9%	543,789	487,634	89.7%
税引前利益	45,967	39,476	85.9%	531,985	444,377	83.5%
流動資産	2,388,115	2,241,414	93.9%			
固定資産	240,808	174,478	72.5%			
流動負債	466,286	312,355	67.0%			
固定負債	-	-	-			
純資産	2,162,637	2,103,537	97.3%			
総資産	2,628,923	2,415,892	91.9%			

2019年1月期 第1四半期(2月度～4月度)

◆連結業績予想◆ (2018年3月5日発表)

・売上高: 8億98百万円

・営業利益: 73百万円

・経常利益: 73百万円

・親会社株主に帰属する

四半期純利益: 51百万円

注)上記表の実績数値につきましては、親会社単体の業績動向をお知らせし、次期四半期業績予想につきましては短信開示資料に添って、連結業績予想を掲載させていただきます。

商品別売上高

商品カテゴリー名	当月(単体)		当月(連結)		過去12ヶ月対比(単体)		
	2018年1月期 2月度	2019年1月期 2月度	2019年1月期 2月度	当月 構成比	16/2/21～ 17/2/20	17/2/21～ 18/2/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	94,586	92,761	92,761	33.9%	1,431,067	1,406,779	33.6%
女兒玩具	55,587	39,815	39,815	14.5%	848,270	613,608	14.6%
遊具・乗り物	41,902	19,414	19,414	7.1%	803,299	495,098	11.8%
海外販売、その他	155,067	124,006	121,977	44.5%	1,616,581	1,676,839	40.0%
合計	347,139	275,996	273,967	100.0%	4,699,216	4,192,324	100.0%

2月度新発売商品

商品カテゴリー名	商品名	標準小売価格(税別)
乳児・知育玩具	ノンキャラベビーシリーズ(リニューアル)(以下6品)	
	「新生児から見える聴こえるチャイム」	¥600
	「脳にGood!なめやすくていいね!」	¥550
	「両手でなめたりかんだり」	¥650
	「集中ドームミラー」	¥780
	「サウンドスプーン」	¥880
女兒玩具	「デコボコザラザラはがため」	¥450
	人形「よちよちぼぼちゃん ごくごくミルク付き」(リニューアル)	¥4,380
	「おんぶとだっこ フローラルデザイン」(リニューアル)	¥1,280
	「ゆったりサイズ おむつ替えごっこ おしりふきつき」(リニューアル)	¥1,000

第42期 連結会計月、2月度の総売上高は、2億74百万円となりました。

個別(単体)実績でお示ししますように、前年同月比で2割程下回る厳しい新年度の開始となったのは、前41期の最終月1月度の国内販売に見られる人形シリーズの低迷トレンドが、当2月度にも続いている事、海外販売では1月度に出荷が集中した分、当2月度で調整され前年同月を下回っている事等が主な要因です。

乳児・知育玩具は好調な補充が続いていますが、「お米シリーズ」では前年同月から3月にかけて盛んであったインバウンド効果が、当年度では落ち着きを見せております。又、ノンキャラ良品シリーズでは、ライフサイクル上でこ入れが必要となった6品を、価格やネーミングを変更し新発売しており、大手量販店等では徐々に新タイプへ切り替わっていく予定です。

女兒玩具のお人形シリーズは、当2月度よりリニューアル新製品を発売し、人形棚のリフレッシュを開始しております。

自転車シリーズでは、前年同月に大手量販店のセルインがありましたが、当年度では翌3月以降の出荷計画となり、当2月度の国内販売の下振れ要因として影響しています。

尚、当2月度の海外販売の個別(単体)実績には、米国子会社向け出荷を計上していますが、連結後は親子間相殺され、海外販売の売上高が調整されております。